

教育・研究業績書

講座名 外科学(胸部)		
＜教員の紹介＞		
准教授 福田 宏 嗣	講 師 吉 龍 正 雄	
准教授 千 田 雅 之		
講 師 石 濱 洋 美		
講 師 柴 崎 郁 子		
講 師 山 田 靖 之		
I 教育活動		
教育実践上の主な業績	年 月	概 要
① 教育内容・方法の工夫（授業評価を含む）		
1. 講義	2004年5月～現在	循環器疾患及び呼吸器疾患の臨床系統講義、特に外科的治療を要する疾患の講義を主に担当した。3D画像、アニメーションや手術ビデオなど視覚的教材を積極的に活用し学生の興味を持ちやすくすると共に理解しやすい講義を心がけた。
2. BSL	2004年5月～現在	呼吸器外科及び心臓血管外科領域のいずれもクルズスを系統的に行うとともに、一人の患者様を受け持たせ術前検査から手術、術後管理まで実際の臨床を経験してもらうようにしている。特に手術に関しては実際に手術に入り手術の具体的な様子、チームとしての手術を経験してもらう。また受け持ち患者の疾患に関する最新の文献を抄読し、教科書レベル以上の知識、考え方を学ぶ機会を設けている。
3. カンファレンス	2004年5月～現在	心臓血管外科及び呼吸器外科領域とも術前、術後カンファレンスまた関連内科との合同カンファレンスを行い、個々の症例について定期的に検討している。また呼吸器外科部門では術前、術後症例の病理的な側面から勉強会を月2回行っており学生も積極的に参加している。
② 作成した教科書、教材、参考書		
「呼吸器外科」及び「心臓血管外科」の教材作成	2008年6月	左記の授業内容の要約とともに関連資料の添付した教材（資料）を毎回の授業時に配布に、学生理解の一助としている。

③ 教育方法・教育実践に関する発表、講演・その他教育活動上特記すべき事項

1. 「心臓血管外科」のウェットラボによる
心臓局所解剖の実習

2008年7月～現在

ウェットラボとは豚の心臓を用いて若手外科医が心臓手術、たとえば冠動脈バイパス吻合や弁置換術などの練習をすることですが、これを学生にも開放し心臓を触りながら心臓手術の実際がわかり、心臓の局所解剖の理解にも役立っている。年3回程度開催しているが、毎回多数の学生が参加している。

教育・研究業績書

講座名	職名	氏名	
外科学 (胸部)	准教授	福田 宏嗣	大学院の研究指導担当資格 有
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
2004年12月～現在	日本外科学会 外科専門医		
2005年10月～現在	日本心臓血管外科学会国際会員		
2005年12月～現在	日本外科学会 外科指導医		
2006年 1月～現在	心臓血管外科専門医認定機構 心臓血管外科専門医		
Ⅲ 研究活動			
【学位論文】			
【著 書】			
【原 著】			
欧文			
1. Abe K, Oka J, Takahashi H, Funatsu T, <u>Fukuda H</u> , Miyamoto Y: Effect of high-frequency jet ventilation on oxygenation during one-lung ventilation in patients undergoing thoracic aneurysm surgery. J Anesth 20:1-5, 2006.			
2. Fukui S, <u>Fukuda H</u> , Toda K, Yoshitatsu M, Funatsu T, Masai T, Miyamoto Y: Remodeling of the radial artery anastomosed to the internal thoracic artery as a composite straight graft. J Thorac Cardiovasc Surg 134:1136-1142, 2007.			
和文			
1. 安部和夫, 岡 淳子, 船津俊宏, 竹内麦穂, <u>福田宏嗣</u> , 藤井謙司: 心臓外科手術患者の肺高血圧に対するミルリノン持続静注の効果. 循環制御 25:378-381, 2004.			
2. 船津俊宏, 竹内麦穂, 正井崇史, <u>福田宏嗣</u> : 19mm生体弁による大動脈弁置換術の中期成績. 胸部外科 59:904-908, 2006.			
3. 船津俊宏, <u>福田宏嗣</u> , 竹内麦穂, 福井伸哉, 正井崇史: 腹部大動脈瘤破裂症例の検討 - 死亡および術後腎不全の危険因子 -. 呼吸と循環 55:699-702, 2007.			
【症例報告】			
欧文			
1. Funatsu T, <u>Fukuda H</u> , Takeuchi M, Masai T, Kawano S, Abe K: Progression of left coronary artery dissection during and after aortic replacement in acute type A aortic dissection: A case report. Ann Thorac Cardiovasc Surg 13:209-212, 2007.			

【総 説】

和文

1. 福田宏嗣 : ICD(植込み型除細動器)植込み術. HEART nursing 18:258-262, 2005.

【そ の 他】

教育・研究業績書

講座名	職名	氏名	
外科学（胸部）	准教授	千田 雅之	大学院の研究指導担当資格 有
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
1997年 11月～現在	日本呼吸器外科学会 指導医・評議員		
2002年 7月～現在	日本胸部外科学会 指導医		
2004年 4月～現在	呼吸器外科専門医合同委員会 呼吸器外科専門医		
2004年 12月～現在	日本外科学会 外科専門医		
2006年 12月～現在	日本外科学会 指導医		
2007年 7月～現在	日本呼吸器外科学会 総合教育委員会手術教育部会		
2007年 8月～現在	日本がん治療認定医機構 暫定教育医		
2008年 9月～現在	日本がん治療認定医機構 がん治療認定医		
Ⅲ 研究活動			
【学位論文】			
【著 書】			
【原 著】			
欧文			
1. Song C, Suzuki S, Kubo H, <u>Chida M</u> , Hoshikawa Y, Tabata T, and Kondo T. Effects of antiplatelet agents on pulmonary haemodynamic response to fMLP in endotoxin primed rats. Thorax 59:39-44, 2004.			
2. Narabayashi M, Saijo Y, Takenoshita S, <u>Chida M</u> , Shimoyama N, Miura T, Tani K, Nishimura K, Onozawa Y, Hosokawa T, Kamoto T, Tsushima T; Advisory Committee for Oxycodone Study : Opioid rotation from oral morphine to oral oxycodone in cancer patients with intolerable adverse effects: an open-label trial. Jpn J Clin Oncol 38:296-304, 2008.			
3. <u>Chida M</u> , Ono S, Hoshikawa Y, Kondo T : Subclinical idiopathic pulmonary fibrosis is also a risk factor of postoperative acute respiratory distress syndrome following thoracic surgery. Eur J Cardiothorac Surg 34:878-881, 2008.			
4. Ishihama H, <u>Chida M</u> , Araki O, Karube Y, Seki N, Tamura M, Honma K, Masawa N, and Miyoshi S: Comparison of 5-Fluorouracil-related gene expression levels between adenocarcinomas and squamous cell carcinomas of the lung. Jap J Clin Oncol 39: 33-36, 2009.			
5. <u>Chida M</u> , Minowa M, Karube Y, Eba S, Okada Y, Miyoshi S, Kondo T : Worsened long-term outcomes and postoperative complications in octogenarians with lung cancer following mediastinal lymph-node dissection. Interact CardioVasc Thorac Surg 8:89-92. 2009.			
6. <u>Chida M</u> , Minowa M, Miyoshi S, Kondo T: Extended sleeve lobectomy for locally advanced lung cancer. Ann Thorac Surg 87: 900-905, 2009.			
和文			
1. <u>千田雅之</u> : 超高齢者（80歳以上）の肺癌手術（縮小手術vs標準手術）pro-標準・拡大-. Medical Practice 21:			

- 1370-1371, 2004.
2. 松村輔二, 岡田克典, 島田和佳, 遠藤千頭, 千田雅之, 桜田 晃, 佐藤雅美, 近藤 丘: 切離面を縫合閉鎖しない新しい肺区域切除術. 胸部外科 57:31-37, 2004.
 3. 千田雅之, 高橋博人, 山中秀樹, 須田秀一, 前田寿美子, 近藤 丘: 限局性間質性肺炎からの肺癌手術後急性増悪例の検討. 胸部外科 58:22-25, 2005.
 4. 千田雅之, 山中秀樹, 須田秀一, 近藤 丘: 局所進行肺癌に対する分岐部形成を含む拡大管状切除. 胸部外科 58:959-962, 2005.
 5. 千田雅之, 山中秀樹, 須田秀一, 近藤 丘: 肺切除周術期における喀痰と術後肺炎に関する検討. 臨床呼吸生理 37:121-122, 2005.
 6. 関 哲男, 小林 哲, 田村元彦, 荒木 修, 苅部陽子, 梅津英央, 石濱洋美, 石濱洋美, 長井千輔, 千田雅之, 三好新一郎: 肺癌手術における気管支・肺動脈形成術の検討. 胸部外科 61:968-971, 2008.
 7. 千田雅之, 箕輪宗生, 江場俊介, 苅部陽子: 気管形成の特殊例 - 喉頭再建と分岐部再建. 胸部外科 61:972-975, 2008.

【症例報告】

欧文

1. Chida M, Minowa M, Eba S, Odajima H: Mesenchymal cystic hamartoma of the lung: a rare cause of pneumothorax. Gen Thorac Cardiovasc Surg 57:166-168. 2009.

和文

1. 松田安史, 星川康, 佐渡 哲, 千田雅之, 山中澄隆, 須田秀一, 菅原崇史, 宮本彰, 相川広一, 遠藤千頭, 岡田克典, 鈴木 聡, 松村輔二, 佐藤雅美, 近藤 丘: 竜骨損傷を伴う外傷性気管分岐部裂傷に対して気管分岐部切除再建を行い救命した一例. 日呼外会誌 18:587-592, 2004.
2. 高橋博人, 千田雅之, 須田秀一, 岡崎次郎, 篠原一彰: 増大する外傷性仮性肺嚢胞に対する肺内血腫除去術においてタココンプが有効であった1例. 医薬の門 44:306-307, 2004.
3. 千田雅之, 箕輪宗生, 江場俊介, 須田秀一: 声門下狭窄に対する気管切開部を残した輪状軟骨弓部切除・気管甲狀軟骨吻合. 胸部外科 61:853-856, 2008.

【総 説】

【そ の 他】

和文

1. 千田雅之: 胸骨正中切開での#7郭清. 胸部外科 60:466-467, 2007.
2. 千田雅之: 気管支被覆法. 胸部外科 62: 455, 2009.

教育・研究業績書

講座名	職名	氏名	
外科学 (胸部)	講師	石濱 洋美	大学院の研究指導担当資格 有
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
1997年 8月～現在	日本胸部外科学会 認定医		
2004年 4月～現在	呼吸器外科専門医合同委員会 呼吸器外科専門		
2004年 4月～現在	日本臨床腫瘍学会 暫定指導医		
2004年 12月～現在	日本外科学会 外科専門医		
2007年 8月～現在	日本がん治療認定医機構 暫定教育医		
Ⅲ 研究活動			
【学位論文】			
Ishihama H: Comparison of 5-fluorouracil-related gene expression levels between adenocarcinomas and squamous cell carcinomas of the lung. Jpn J Clin Oncol 39:33-36, 2009.			
【著 書】			
【原 著】			
欧文			
1. Tamura M, Sawabata N, Kobayashi S, Umezu H, Seki N, Yoshii N, Karube Y, Araki O, <u>Ishihama H</u> , Nagai S, Miyoshi S: Prognostic significance of p21 protein expression in patients with pulmonary squamous cell carcinoma following induction chemotherapy. Ann Thorac Cardiovasc Surg 13:9-14, 2007.			
和文			
1. 梅津英央, 澤端章好, 荒木 修, 荻部陽子, 関 哲男, 田村元彦, 小林 哲, <u>石濱洋美</u> , 長井千輔, 三好新一郎: 胸椎近傍胸壁浸潤非小細胞肺癌に対する術前導入療法の検討. 日本呼吸器外科学会雑誌 21:866-870, 2007.			
2. 小林 哲, 荒木修, 荻部陽子, 関 哲男, 田村元彦, 梅津英央, <u>石濱洋美</u> , 長井千輔, 澤端章好, 三好新一郎: 当科における肺癌に対する気管支・肺動脈形成術の検討. 臨床呼吸生理 40:49-52, 2008.			
3. 関 哲男, 小林 哲, 田村元彦, 荒木 修, 荻部陽子, 梅津英央, <u>石濱洋美</u> , 石濱洋美, 長井千輔, 千田雅之, 三好新一郎: 肺癌手術における気管支・肺動脈形成術の検討. 胸部外科 61:968-971, 2008.			
【症例報告】			
欧文			
1. Miyoshi S, Tamura M, Araki O, Yoshii N, Karube Y, Seki N, Umezu H, Kobayashi S, <u>Ishihama H</u> , Nagai S, Sawabata N: Telescoping bronchial anastomosis for extended sleeve lobectomy. J Thorac Cardiovasc Surg 132:978-980, 2006			
2. Kobayashi S, Sawabata N, Araki O, Karube Y, Seki N, Tamura M, Umezu H, <u>Ishihama H</u> , Nagai S, Miyoshi S: Dissection of a mediastinal mature teratoma requires replacement of the ascending aorta during cardiopulmonary bypass. J Thorac Cardiovasc Surg 134:1371-1372, 2007.			

和文

1. 鈴木弘美, 籀持 淳, 橋壁道雄, 山崎雙次, 田村元彦, 石濱洋美, 三好新一郎: 肺癌に対するゲフィチニブ (イレッサ) 投与中に座瘡様皮疹を呈した6例. 西日本皮膚科 66:599-601, 2004.
2. 小林 哲, 田村元彦, 関 哲男, 青木秀和, 荒木 修, 苅部陽子, 吉井直子, 梅津英央, 石濱洋美, 長井千輔, 中元隆明, 池田康紀, 三好新一郎: 血胸を併発した肺葉内肺分画症の1例. 日本呼吸器外科学会雑誌 19:616-621, 2005.
3. 田村元彦, 荒木 修, 青木秀和, 苅部陽子, 吉井直子, 関 哲男, 梅津英央, 小林 哲, 石濱洋美, 池田康紀, 長井千輔, 三好新一郎: 侵入経路が不明な縦隔内伏針の一例. 日本呼吸器外科学会雑誌 19:766-769, 2005.
4. 小林 哲, 荒木 修, 苅部陽子, 吉井直子, 関 哲男, 田村元彦, 梅津英央, 石濱洋美, 長井千輔, 萩澤 進, 三好新一郎: 肺膿瘍を合併した先天性食道嚢腫の1例 - 本邦報告165例の臨床病理学的検討も含めて -. 日本呼吸器外科学会雑誌 20:965-969, 2006.
5. 小林 哲, 澤端章好, 苅部陽子, 吉井直子, 関 哲男, 梅津英央, 石濱洋美, 長井千輔, 三好新一郎: 気管支原発の類基底細胞癌に対して左上下葉気管支分岐部を含む気管支軟骨輪部切除を施行した1例. 日本呼吸器外科学会雑誌 21:576-580, 2007.

【総 説】

【そ の 他】

和文

1. 石濱洋美: 多発転移のある若年肺癌に対してのイレッサの使用. がん分子標的治療 3. Suppl:52, 2005.
2. 石濱洋美: 透析患者の肺癌術後再発症例に対するイレッサの使用経験. がん分子標的治療 3. Suppl:107, 2005.
3. 石濱洋美, 三好新一郎: 獨協医科大学病院における外来化学療法の実際. MEDICAL DIGEST 54:64-73, 2005.

教育・研究業績書

講座名	職名	氏名	
外科学 (胸部)	講師	柴崎 郁子	大学院の研究指導担当資格 有
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
2001年 8月～現在	日本胸部外科学会 認定医		
2003年 12月～現在	日本外科学会 外科専門医		
2005年 1月～現在	心臓血管外科専門医認定機構 心臓血管外科専門医		
Ⅲ 研究活動			
【学位論文】			
【著 書】			
【原 著】			
欧文			
1. Nishikimi T, Asakawa H, Iida H, Matsushita Y, <u>Shibasaki I</u> , Tadokoro K, Mori Y, Mori H, Mochizuki Y, Okamura Y, Miyoshi S, Kangawa K, Matsuoka H: Different Secretion Patterns of Two Molecular Forms of Cardiac Adrenomedullin in Pressure- and Volume-Overloaded Human Heart Failure. J Card Fail 10:321-327, 2004.			
2. Shimamura Y, Mochizuki Y, Yamada Y, Eda K, <u>Shibasaki I</u> , Inoue Y, Saito F, Miyoshi S: Initial clinical experience with a new end graft holder for anastomosis in coronary surgery. Gen Thorac Cardiovasc Surg 55:416-419, 2007.			
【症例報告】			
欧文			
1. Shimamura Y, Mochizuki Y, Yamada Y, <u>Shibasaki I</u> , Miyoshi S: Prosthetic mitral valve leaflets jammed by a balloon catheter. Gen Thorac Cardiovasc Surg 57:153-154, 2009.			
和文			
1. <u>柴崎郁子</u> , 加瀬川 均, 下川智樹, 小柳俊哉, 維田隆夫: 活動期感染性心内膜炎に対し僧帽弁形成術を施行した1例. 胸部外科 59:1201-1204, 2006.			
2. 山田靖之, 望月吉彦, 島村吉衛, 枝 州浩, <u>柴崎郁子</u> , 井上有方, 三好新一郎: 心タンポナーデを伴った高齢者(82歳) 弓部大動脈瘤心嚢内破裂の1救命例. 日本心臓血管外科学会雑誌 36:153-156, 2007.			
3. 島村吉衛, 望月吉彦, 山田靖之, 枝 州浩, <u>柴崎郁子</u> , 井上有方, 三好新一郎: 散型多方向性ハートポジショナーとピッグテール型フックによる冠状動脈視野展開の工夫. 胸部外科 60:547-549, 2007.			
4. 島村吉衛, 望月吉彦, 山田靖之, 枝 州浩, <u>柴崎郁子</u> , 井上有方, 三好新一郎: 腋窩動脈 - 両側大腿動脈間人工血管バイパス術で観察し得た臓器虚血合併B型急性大動脈解離の1例. 心臓 39:732-737, 2007.			

【総 説】

【そ の 他】

1. 山田靖之, 望月吉彦, 島村吉衛, 枝 州浩, 柴崎郁子, 井上有方, 三好新一郎: 感染性心内膜炎における人工弁の選択 - 機械弁と異種生体弁の比較検討 - . 医工学治療 18:271-273, 2006.

教育・研究業績書

講座名	職名	氏名	
外科学 (胸部)	講師	山田 靖之	大学院の研究指導担当資格 有
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
1999年 8月～現在	日本胸部外科学会 認定医		
2002年 12月～現在	日本外科学会 外科専門医		
2003年 12月～現在	心臓血管外科専門医認定機構 心臓血管外科専門医		
Ⅲ 研究活動			
【学位論文】			
【著 書】			
【原 著】			
【症例報告】			
欧文			
1. Iida H, Mochizuki Y, Matsushita Y, Mori H, <u>Yamada Y</u> , Miyoshi S : A Valve Replacement Technique for Heavily Calcified Mitral Valve and Annulus. J Heart Valve Dis 14:209-211, 2005.			
2. Mori H, Okamura Y, Mochizuki Y, Iida H, <u>Yamada Y</u> , Eda K, Inoue Y, Miyoshi S : A Surgical Case of Concomitant Aneurysms of the Brachiocephalic and Coronary Arteries. Ann Thorac Cardiovasc Surg 11:128-131, 2005.			
3. Shimamura Y, Mochizuki Y, <u>Yamada Y</u> , Eda K, <u>Shibasaki I</u> , Inoue Y, Saito F, Miyoshi S : Initial clinical experience with a new end graft holder for anastomosis in coronary surgery. Gen Thorac Cardiovasc Surg 55:416-419, 2007.			
4. Shimamura Y, Mochizuki Y, <u>Yamada Y</u> , <u>Shibasaki I</u> , Miyoshi S : Prosthetic mitral valve leaflets jammed by a balloon catheter. Gen Thorac Cardiovasc Surg 57:153-154, 2009.			
和文			
2. 飯田浩司, 望月吉彦, 森 秀暁, <u>山田靖之</u> , 枝 州浩, 井上有方, 三好新一郎 : 塞栓摘除術後肺出血のため肺葉切除を要した急性肺塞栓症の1例. 胸部外科 57:1153-1156, 2004.			
3. 森 秀暁, 岡村吉隆, 望月吉彦, 飯田浩司, <u>山田靖之</u> , 三好新一郎 : 16年前の腰椎椎間板ヘルニア手術が原因と考えられた腸骨動静脈瘻の1例. 日本臨床外科学会雑誌 65:915-918, 2004.			
4. 森 秀暁, 望月吉彦, 飯田浩司, <u>山田靖之</u> , 松下 恭, 井上有方, 三好新一郎 : 大腿部内シヤント仮性動脈瘤に対するステントグラフト内挿術の1例. 日本透析医学会雑誌 37:1527-1530, 2004.			
5. 森 秀暁, 望月吉彦, <u>山田靖之</u> , 枝 州浩, 井上有方, 三好新一郎 : Mobile atheroma が術中に発見され、術式変更を要した冠動脈バイパス手術の1例. 冠疾患学会雑誌 11:106-109, 2005.			
6. 飯田浩司, 森 秀暁, <u>山田靖之</u> , 枝 州浩, 井上有方, 望月吉彦 : 急性冠症候群に対するOPCABにおけるグラフト			

から冠状動脈への一時的シャントの工夫. 胸部外科 58:471-474, 2005.

7. 井上有方, 望月吉彦, 島村吉衛, 鴛海元博, 山田靖之, 松下 恭, 枝 州浩, 三好新一郎: 卵円孔開存によりチアノーゼをきたした外傷性三尖弁閉鎖不全症の1治験例. 日本心臓血管外科学会雑誌 35:98-101, 2006.
8. 山田靖之, 望月吉彦, 島村吉衛, 枝 州浩, 柴崎郁子, 井上有方, 三好新一郎: 心タンポナーデを伴った高齢者(82歳)弓部大動脈瘤心嚢内破裂の1救命例. 日本心臓血管外科学会雑誌 36:153-156, 2007.
9. 島村吉衛, 望月吉彦, 山田靖之, 枝 州浩, 柴崎郁子, 井上有方, 三好新一郎: 散型多方向性ハートポジショナーとピッグテール型フックによる冠状動脈視野展開の工夫. 胸部外科 60:547-549, 2007.
10. 島村吉衛, 望月吉彦, 山田靖之, 枝 州浩, 柴崎郁子, 井上有方, 三好新一郎: 腋窩動脈 - 両側大腿動脈間人工血管バイパス術で観察し得た臓器虚血合併B型急性大動脈解離の1例. 心臓 39:732-737, 2007.

【総 説】

【そ の 他】

和文

1. 森 秀暁, 望月吉彦, 飯田浩司, 山田靖之, 枝 州浩, 井上有方, 三好新一郎, 鷲谷澄夫, 瀬尾弘司: MDCTを用いた冠状動脈の評価(冠動脈バイパスグラフトの評価を中心に). 栃木県医学会々誌 34:144-147, 2004.
2. 山田靖之, 望月吉彦, 島村吉衛, 枝 州浩, 柴崎郁子, 井上有方, 三好新一郎: 感染性心内膜炎における人工弁の選択 - 機械弁と異種生体弁の比較検討 -. 医工学治療 18:271-273, 2006.

教育・研究業績書

講座名	職名	氏名	
外科学 (胸部)	講師	吉龍 正雄	大学院の研究指導担当資格 有
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
2006年 1月～現在 2007年 12月～現在	心臓血管外科専門医認定機構 心臓血管外科専門医 日本外科学会 外科専門医		
Ⅲ 研究活動			
【学位論文】			
【著 書】			
【原 著】			
欧文			
1. Ihara A, Kawamoto T, Matsumoto K, Kawamoto J, Katayama A, <u>Yoshitatsu M</u> , Izutani H, Ihara K: Relationship between hemostatic markers and circulating biochemical markers of collagen metabolism in patients with aortic aneurysm. Pathophysiol Haemost Thromb 33:221-224, 2004.			
2. Nomura F, Tamura K, <u>Yoshitatsu M</u> , Katayama A, Katayama K, Ihara K: Changes in coagulation condition, cytokine, adhesion molecule after repair of type A aortic dissection. Eur J Cardiothorac Surg 26:348-350, 2004.			
3. Ihara A, Matsumoto K, Kawamoto T, Shouno S, Kawamoto J, Katayama A, <u>Yoshitatsu M</u> , Izutani H: Evaluation of platelet indexes in patients with aortic aneurysm. Pathophysiol Haemost Thromb 34:269-273, 2005.			
4. Izutani H, <u>Yoshitatsu M</u> , Kawamoto J, Katayama K: Novel knot-tying technique for mitral valve repair. J Thorac Cardiovasc Surg 129:1184-1186, 2005.			
5. Ihara A, Matsumoto K, Kawamoto T, Shouno S, Kawamoto J, Katayama A, <u>Yoshitatsu M</u> , Izutani H: Relationship between hemostatic markers and platelet indices in patients with aortic aneurysm. Pathophysiol Haemost Thromb 35:451-456, 2006.			
6. Fukui S, Fukuda H, Toda K, <u>Yoshitatsu M</u> , Funatsu T, Masai T, Miyamoto Y: Remodeling of the radial artery anastomosed to the internal thoracic artery as a composite straight graft. J Thorac Cardiovasc Surg 134:1136-1142, 2007.			
7. Miyagawa S, Matsumiya G, Funatsu T, <u>Yoshitatsu M</u> , Sekiya N, Fukui S, Hoashi T, Hori M, Yoshikawa H, Kanakura Y, Ishikawa J, Aozasa K, Kawaguchi N, Matsuura N, Myoui A, Matsuyama A, Ezoe S, Iida H, Matsuda H, Sawa Y: Combined autologous cellular cardiomyoplasty using skeletal myoblasts and bone marrow cells for human ischemic cardiomyopathy with left ventricular assist system implantation: report of a case. Surg Today 39:133-136, 2009.			
【症例報告】			

欧文

1. Yoshitatsu M, Nomura F :Pathologic findings of aortic redissection after glue repair of proximal aorta. J Thorac Cardiovasc Surg. 127:593-595, 2004.
2. Yoshitatsu M, Nomura F :Impact of ostial stenosis on the Doppler flow profiles in internal thoracic artery graft. Circ J. 69:253-256, 2005.
3. Yoshitatsu M, Nomura F :The "eaves" technique for distal anastomosis in aortic arch replacement. Ann Thorac Surg 79:1422-424, 2005.
4. Izutani H, Yoshitatsu M, Kawamoto J, Katayama K :A case of ostial stenosis with the PAS-Port proximal anastomosis system in off-pump coronary artery bypass grafting. Interact Cardiovasc Thorac Surg 4:341-343, 2005.
5. Fukui S, Nishimura M, Matsumiya G, Yoshitatsu M, Matsue H, Sawa Y : Torn cusp in a freestyle stentless bioprosthesis 5 years after implantation: report of a case. Surg Today 37:977-979, 2007.
6. Toda K, Yoshitatsu M, Izutani H, Ihara K :Surgical management of penetrating cardiac injuries using a fibrin glue sheet. Interact Cardiovasc Thorac Surg 6:577-578, 2007.

【総 説】

【そ の 他】